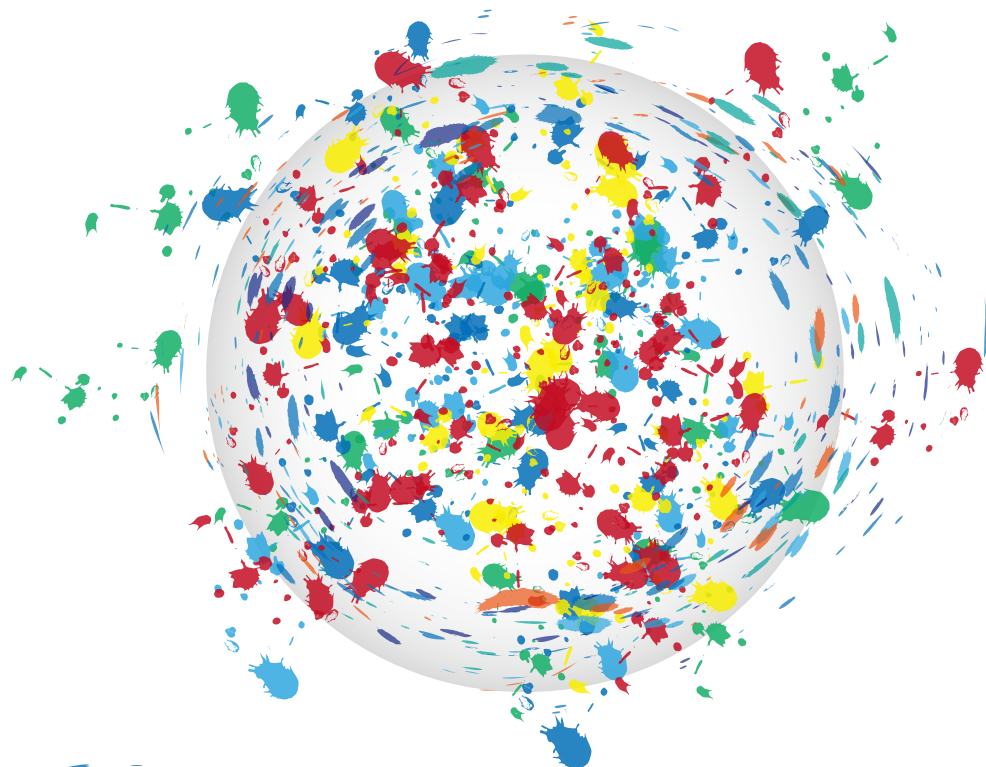




これからの地球温暖化と水循環の変化 — 21世紀末の地球はどうなるか？

"Global Warming: How and Why"

2015.9.2 (WED) 15:00 ~ 17:00 報告者: 真鍋 淑郎 氏 (プリンストン大学)

総合地球環境学研究所・講演室

申込不要・入場無料 / 使用言語 日本語

本セミナーでは、大気・海洋・陸面結合モデルを用いた地球温暖化実験の結果を参照しながら、21世紀末までに起こることが予測される“地表面温度”の変化と、これに伴って生じる河川流出率や土壌水分量などの“水利用可能性”の変化の地理的パターンについて論じる。これらの変化の地理的パターンは、予測を裏付けるかのようにすでに観測されはじめているが、これら地理的パターンがどのように生じるのか、数値実験の結果の詳細な分析に基づいて物理的メカニズムを説明する。また後半では、このような気候変動がもたらす影響についても議論する。

Referring to the results from global warming experiments conducted by a coupled atmosphere-ocean-land model, this presentation describes the geographical pattern of surface temperature change expected to occur by the end of the 21st century and associated change in water availability such as rate of runoff and soil moisture. It is encouraging that the geographical patterns of these changes have already begun to emerge in observation. Attempt will be made to explain the physical mechanism of these changes based upon the in-depth analysis of the results from the numerical experiments. The impact of the climate change will be discussed toward the end of the presentation.



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

アクセス

- 地下鉄丸線
京都駅 → (20分) → 国際会館駅
→ 京都バス 40 系統「京都産業大学ゆき」または
50 系統「市原ゆき」または
52 系統「市原経由貴船口・鞍馬・鞍馬温泉ゆき」
→ (6分) → 地球研前 バス停下車すぐ
- 京阪沿線
出町柳駅 → 叡山電車鞍馬線 (17分) → 京都精華大前駅
→ (徒歩 10分) → 地球研

マイカーでのご来場は固くお断りいたします。
公共交通機関をご利用ください。

